

災害復旧計画 (DRP)

MDY-ORG-POL-03

コード	MDY-ORG-POL-03
バージョン	2.2
改定日	2021年7月
作成／更新者	Mor Bouganim-Fogel
承認者	Guy Havusha
機密レベル	公開

変更履歴:

日付	バージョン	作成者	承認者	変更内容
2018年1月	1.0	Yaniv Milhovitch	Eran Zinman, CTO	初版
2018年6月	1.1	Ouriel Weisz	Ouriel Weisz	定期レビュー・改定
2019年1月	1.2	David Virtser	Ouriel Weisz	定期レビュー・改定
2019年7月	1.3	David Virtser	Ouriel Weisz	定期レビュー・改定
2019年9月	2.0	Yuval Yelin	Ouriel Weisz	大幅な変更
2020年5月	2.1	Alexander Barkin	Ouriel Weisz	ポリシーレビュー&テストの頻度変更
2021年7月	2.2	Mor Bouganim-Fogel	Guy Havusha	定期レビュー・改定

目次

1.	はじめに.....	3
2.	目的.....	3
3.	適用範囲.....	3
4.	前提.....	4
5.	復旧チーム.....	4
6.	チームメンバーの責任.....	4
7.	災害の宣言.....	5
8.	計画の発動.....	5
9.	目標復旧時間 (RTO)	5
10.	目標復旧ポイント (RPO)	5
11.	外部とのコミュニケーション	5
12.	ベンダーとのコミュニケーション	6
13.	最重要ベンダー - 連絡先情報.....	6
14.	データとバックアップ.....	6
15.	災害復旧セキュリティ評価.....	6
16.	計画の見直しと点検.....	6
17.	イベントマネージャーに対する状況報告	7
18.	行動方針の決定.....	7

1. はじめに

本災害復旧計画（DRP）は、monday.com（以下「**monday.com**」または「当社」）が災害から復旧するために取るべき措置について、全ての情報を1つのリポジトリにまとめたものです。

2. 目的

本計画は、当社およびお客様に対する影響を最小限に抑えるために速やかに災害を特定し、本ポリシー文書で定められた RTO 内に、できるだけ早く中核的なオペレーションを復旧させることを目的としています。よって、本計画の目標は次のとおりとなります。

- 業務の停止および損害の程度を限定する
- 業務の停止による経済的影響を最小限に抑える
- 代替的なオペレーションの手段を予め確立する
- 緊急時の手順について従業員にトレーニングを行う
- サービスの円滑で迅速な復旧を実現する

3. 適用範囲

本計画は、お客様の体験およびデータに影響する monday.com の本番オペレーションを適用範囲とします。

本番以外のサービス、人員、人的資源、不動産に対する災害は、本計画の適用範囲外とします。その他の種類の災害の軽減については、monday.com の事業継続計画（MDY-BCP-PLN-01）で取り扱います。

核戦争などの国家的な災害は、本計画の適用範囲外となります。

4. 前提

- 災害後、器官的人員（チームリーダーまたはその代理の者）が対応可能である。
- 本ポリシードキュメントおよび重要度の高い記録がすべて安全な遠隔地に保管されており、災害を免れるのみならず、災害後すぐにアクセス可能である。
- 当社には、独自の復旧手続き、重要なリソースに関する情報、各種手続きで構成される基本計画が 1 つだけ存在する。

5. 復旧チーム

- イベントマネージャー
- 災害復旧チーム（DRT）

備考：それぞれの役割と責任の詳細については、別紙 A を参照のこと。

6. チームメンバーの責任

- 各チームメンバーは、代理の者を指定します。
- メンバーおよびその代理の者は全員、チームメンバーの電話番号が記載された最新の連絡先リストにアクセスできる必要があります。
- チームメンバーは全員、通常の勤務時間終了後に災害が発生した場合、当社の社内規程集（monday.monday および [共有ドライブ](#) の両方）内にある本計画にアクセスできる必要があります。
- チームメンバーは全員、本計画の内容に精通している必要があります。

7. 災害の宣言

イベントマネージャーは、DRT からの情報提供に基づき、災害を宣言し、本計画に定める各種復旧チームを立ち上げる責任を負います。下記に該当するイベントは、全て災害として宣言されます。

- 顧客の 10%以上がサービスを利用できない。
- システムの中核的な機能またはコンポーネントがダウンしている。
- システム内の主要なワークフローが停止している。

既定の時間内にその状況が解消される可能性が低い場合、災害が宣言されます。災害を宣言する権限を有する担当者は、主たる担当者が対応できない場合に災害を宣言できる代理の者を、最低でも 1 人指定する必要があります。

8. 計画の発動

本計画は、災害が発生した場合に有効となります。問題管理のための手続きが開始され、業務の正常化が宣言されるまで有効となります。

9. 目標復旧時間 (RTO)

災害が発生した場合の目標復旧時間 (RTO) は 24 時間とします。

10. 目標復旧ポイント (RPO)

災害が発生した場合の目標復旧ポイントは (RPO) は 12 時間とします。

11. 外部とのコミュニケーション

monday.com の広報 (PR) 担当者は、顧客、メディア、その他社外の組織との主たる連絡窓口指定されます。

monday.com の法務部門は、法務当局との主たる連絡窓口指定されます。

12. ベンダーとのコミュニケーション

DRT は、災害が宣言された場合、速やかに対象ベンダーに連絡を取る責任を負います。

13. 最重要ベンダー - 連絡先情報

当該リストは[組織ファイルリポジトリ](#)内にあり、monday.com の従業員はアクセスできます。

14. データとバックアップ

monday.com および AWS バックアップサービスは、データの可用性および冗長性を確保するため、本番環境に保存されている各種サービス関連データのバックアップ作業を管理・実施する責任を負います。monday.com のアプリケーションデータベースと、アプリケーションファイルシステムの特に関連部分は、毎日バックアップが取られます。バックアップデータは、25 日分が地理的に離れた遠隔地に保管されます。バックアップにアクセスできるのは、権限を付与された個人のみ制限されます。

15. 災害復旧セキュリティ評価

monday.com のネットワークシステムに対するセキュリティ侵害が発生した場合は、システム内で影響を受けている箇所を評価するため、monday.com の CISO (別紙 B 参照) によるセキュリティ侵害評価が実施されます。

16. 計画の見直しと点検

本計画は、年 1 回見直しを行い、2 年ごとに訓練を実施するものとします。テストは、ウォークスルー、模擬災害またはコンポーネントテストの形で行うことができます。また、monday.com の社内の状況は常に変化するため、本計画に含まれる人員および電話番号のリストを定期的に見直すことが重要です。

17. イベントマネージャーに対する状況報告

DRT は、下記のいずれかの条件に該当する場合、イベントマネージャーに連絡を取り、次の情報を提供する必要があります（連絡先リストについては別紙Bを参照）。

- いずれかのシステムまたは場所に関して、上記第 8 条で挙げられているいずれかの状況を引き起こすような問題が発生した場合、または上記の状況が発生する兆候がある場合、DRT は次の情報を提供します：災害の種類、損害の概要（例：最小限、重大、完全な破壊）
- 災害が発生した場合、イベントマネージャーはカスタマーサクセス担当 VP に連絡および報告を行います。

18. 行動方針の決定

イベントマネージャーは、DRT より入手した情報に基づき、イベントへの対処方法を決定するものとします。災害が宣言されていない場合、DRT は引き続き状況への対応と管理を行い、定期的にイベントマネージャーに最新状況を報告します。災害が宣言された場合、イベントマネージャーはその後の対応を決定し、DRT は引き続き災害の解決に取り組みます。

免責条項： このバージョンは、英語の原文を翻訳したものであり、便宜上の目的でのみ提供されています。この英語の原文は、正式な法的拘束力のあるバージョンであり、矛盾が生じた場合には英語の原文が優先されるものとします。